

各位

会社名



登記社名：株式会社巴川製紙所

コード番号 3878

(URL <https://www.tomoegawa.co.jp>)

代表者名 代表取締役社長 井上 善雄

問合せ先 取締役専務執行役員

CFO 経営戦略本部長 山口 正明

(TEL 03-3516-3403)

2022年3月期 連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月14日に公表しました2022年3月期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期 第2四半期累計期間連結業績予想の修正(2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,000	百万円 200	百万円 150	百万円 200	円 銭 19.93
今回修正予想 (B)	16,000	800	750	700	69.74
増減額 (B-A)	1,000	600	600	500	—
増減率 (%)	6.7	300.0	400.0	250.0	—
(ご参考) 前年同一期間実績	13,950	△865	△812	△1,674	△167.20

2. 2022年3月期 通期連結業績予想値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 32,000	百万円 600	百万円 600	百万円 500	円 銭 49.82
今回修正予想 (B)	33,000	1,200	1,200	1,000	99.63
増減額 (B-A)	1,000	600	600	500	—
増減率 (%)	3.1	100.0	100.0	100.0	—
(ご参考) 前年同一期間実績	30,768	△15	145	△1,152	△114.84

3. 修正の理由

当第2四半期累計期間の連結業績予想は、第1四半期は前連結会計年度の第4四半期(1月～3月)の好調が継続したところへ、第2四半期を中心に当初計画外であった当年度モデルのスマホ向け光学フィルム関連の受注を獲得したことや、為替相場も第2四半期中は当初計画より円安に推移すると予想すること等から、大幅な増益が見込まれ、前回公表予想を上回る見通しとなりました。業績予想の前提となる期中平均為替レートは、1米ドル110円(前回予想より5円の円安)としております。

通期連結業績予想につきましては、第3四半期以降の為替相場が不透明なことや、原材料等の調達コストが上昇基調であることなどを踏まえて、上記のとおり修正しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上